

## 令和4年度 第1回蒲郡市都市計画審議会

### 1 日時

令和4年7月12日（火）午後2時から

### 2 場所

蒲郡市役所 新館6階 第2委員会室

### 3 出席委員数

12名

### 4 審議会の結果

議題1 国立大学法人豊橋技術科学大学 教授 浅野純一郎委員が選出されました。

### 5 議事案件

番号	議 題
1	蒲郡市都市計画審議会会長の選出について

### 6 質疑概要

#### ○報告事項

#### (1) 蒲郡市都市計画マスタープランの改定について

問1 都市計画マスタープラン策定委員会はだれが参加しているのか。

答1 策定委員会のメンバーとしては11名のメンバープラスオブザーバーとして、県都市計画課及び東三河建設事務所の方で構成をされております。学識経験者として大学・高専の教授と准教授、各種団体としては、商工会議所、農業委員会、蒲郡商店街振興組合、青年会議所、こちらの団体の代表の方に入っています。その他としては、市民の代表として、総代連合会、社会教育委員、国際交流協会、農村生活アドバイザー、市の職員として都市開発部長、こちらが委員の所属の内訳になっております。

意見 マスタープランの中で、生活者の視点の、今後の高齢化率だとか、単身世帯だとか、そういった人たちの意見反映というのを、これから

どこかで意見集約して行って欲しい。

意見 これからの都市計画というか都市構造の中では、高齢者の単身世帯の増加は深刻で、それに対しての交通体系だとか、買い物のフォローっていうのが出てくる部分があるので、そういったところというのも視点に入れといていただけるとありがたいかなと思う。

意見 子育て世帯が蒲郡に移住していただけるにはどうしたらいいかっていうことを常々考えているが、その中で自然を感じながら、豊かな日常の暮らしを送れるような、質の高い日常生活っていう話もよく聞く。でも何かこの都市計画マスタープランの中では、観光の話はよく出てくるが、普通の住民が豊かな生活を送るためのことが少し抜けているように感じる。

意見 観光都市には今、サイクリングロードは必要だと思う。どこもレンタサイクルっていうのはあちこちである。でも蒲郡は残念ながら、すごく広い歩道があっても、自転車道路というのがないので、観光都市って謳うのならば、自転車道は必要だと思う。

意見 市内に公園は結構あるし、集会所なんかをもうちょっと上手に活用して、お年寄りと子供が集まれるような、公園と集会所が連動しとるとこなんかも結構あるのだから、そういうものをまちづくりの一環としてきれいにしていただけると、人が集まる空間ができると思う。

意見 アピタの横のせせらぎだが、せっかく造ったが、水を流した状況を見てない。駅前へ来たときに、せせらぎに水が流れておると、非常にまた海に引き込む一つの動線になる。せっかくあるものが上手に生かされていないと感じる。

意見 都市計画マスタープランの分野別の方針が、もう少し官民連携、公民連携みたいな考え方が入っていたほうがいいと思う。

(2) 今年度の法定手続き実施予定案件について  
質疑なし

以上